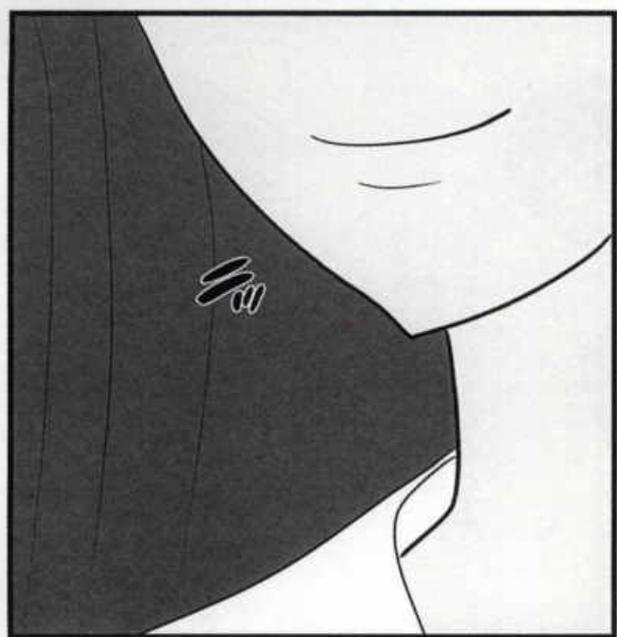
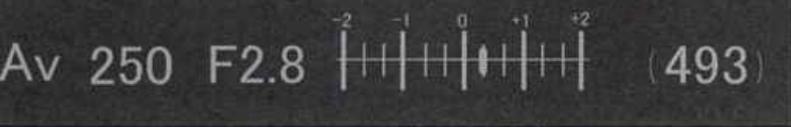


# 黒 スト 詩 羽



DOJIN  
R18  
Adult Only

青年紳士同盟





マズイ  
詩羽先輩だ。

ちょっと！  
アナタ。

高田繁樹君！



翌日の放課後



今までに撮影した  
私の写真を全て  
消してくれない  
かしら？

そんな…。

何が  
「そんな」  
ですか？



何故、呼び止め  
られたか分かって  
るわよね？

は、  
はあ…。

何故、僕の  
名前を…？



じゃ明日の  
放課後、  
持って来てね。

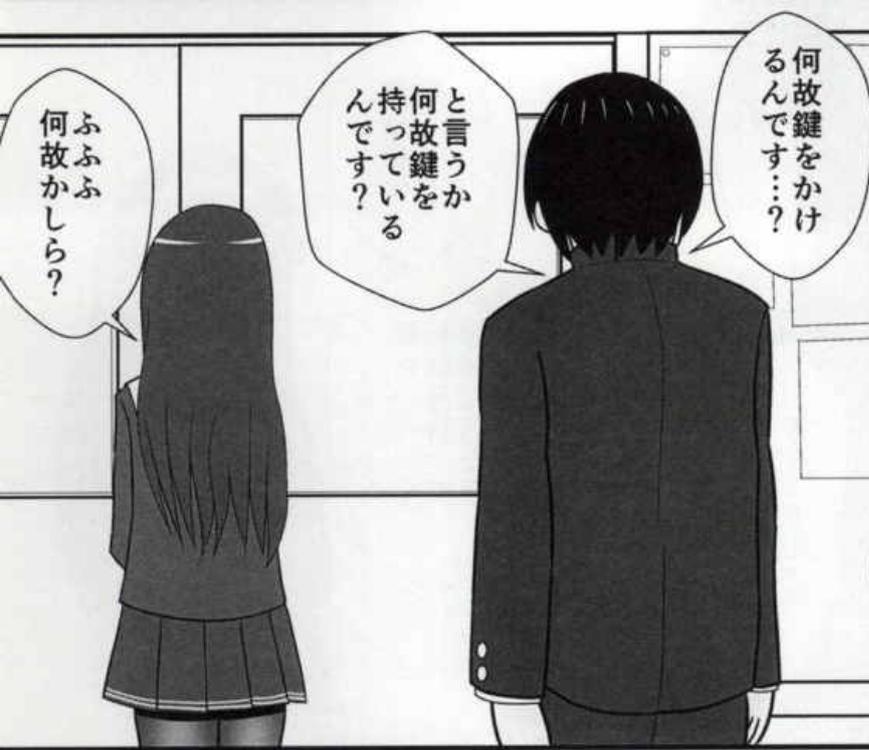
はあ…。



そ、それは  
困ります…。

そうだったら  
アナタこの学園に  
いられなくなるわよ？

断ったら  
ストーカー被害に  
遭ったと警察に  
届けますよ？









アナタ!

私の脚に  
精液をかける  
ってどういうこと?

ドロ...



ビしょ  
ビしょ  
ビしょ

ビしょ



綺麗に  
舐めて  
しなさい!

でいん  
ですか?



詩羽先輩の  
脚を舐められる  
なんて...!

又ロ...



こんなんじゃ  
外に出られない  
じゃない?

わ、わかり  
ました...

自分の精液の味はいかがが？

ゴロー

ずいぶんと熱心に舐める

私の脚はおいしいの？

美味しいです。

動画をバッチリ撮ったからアナタもう私に逆らえないわよ。

変な味です。

さっそく最初の命令をするわね。

最初の命令は「オナニー禁止」よ！

ふあい。

先輩のフトモモなんて柔らかいんだ！

。。。。

ゴロー

ちんちん

×△ ×△





そう。

じゃあ、私の  
言いつけを  
守ったご褒美に

私があなたの  
オナホ童貞の  
奪ってあげる。



フフフ  
どう？

いえ  
ありません。

あなた  
これ使ったこと  
ある？



凄  
い！  
カチカチに  
なってるわね。

じゃあ  
奪ってあげる。

じゃ  
入れるわね♡



えっ！

先輩がして  
くれるのかッ！

どきん  
どきん



ふふっ  
カウパーが  
あふれ出して  
きたわよ？

待ちきれない  
みたいね。



これで  
オナホ童貞  
卒業ね。

おめでとう。

ぬちゅ



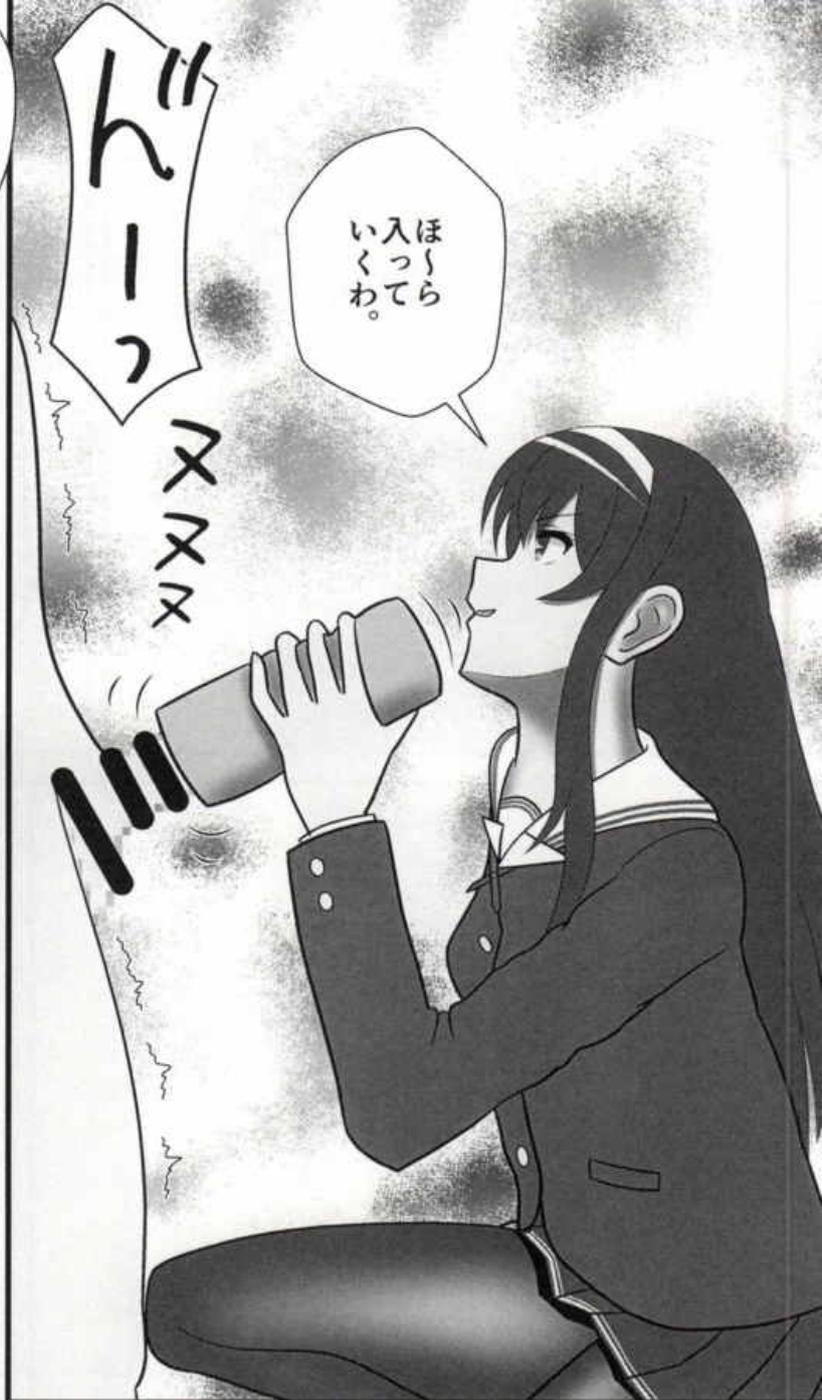
やっぱり  
アタの  
大きいのね。

先っぽが  
出ちゃうわ。



うああッ!  
センパイっ!

ハハッ



ほくわ  
入くら

んーっ  
ヌヌヌ



うあッ!  
先輩!

そんなこと  
されたら  
出ちやいます!

まだ  
出しちゃ  
ダメよ。







さつき出した  
ばかりで  
ずいぶん出る  
のね。



いいわ。  
気が済むまで  
かけなさい。



いい事、  
アタは  
下の僕に  
私達のだ  
なつたの  
私以外で  
しちやダ  
メ射精  
よ。

はい  
わかりました。



勝手にオナニーしてないわよね。

久しぶりね。

はい。



更に数日後

準備室



えっ!?

ズル



ス、スママセン。

まあいいわ。服を脱いで。

まあ! もう勃起させてはしたないわね。



んっ…

あっ

ズル  
ズル  
ズル



先輩。穿いてないッ!

え!?

いきなり  
射精して  
どうしたの?

すみません。

ドロ..

先輩の姿が  
あまりに  
セクシーだった  
ので...

何故、パンティー  
を穿いて無い  
のですか?

私の下半身を  
見ただけで  
イッチャった  
の?

ヌ  
ー

アナタが  
汚した私の脚を  
綺麗にしたら  
教えてあげる。



ああ...先輩の脚...



先輩のパンスト...



あ

そうよッ!

あッ

上手く  
なつたわッ!

あッ

舐めてッ!



あッ

ふふ、  
綺麗に  
なつたわ。





さあ！  
飲むのよッ！

んあっ

ああ！  
飲んでッ！



こぼしちゃ  
ダメよ。

ん



そうよッ！  
飲んでえ！

げっ！  
ゲホッ！



その長い舌で汚れを舐め取るのよ。

はい。



じゃあ綺麗にして♡

あなたは私専用のウオッシュレットなのよ？

私がそう決めたの！

え？それって！



ああッ！先輩のオ○ンコに口を付けてくれるなんてッ！

ぐんぐん



アナタッ！舌長いッ！

奥にッ！奥に届くわッ！

ぐんぐん



ああッ！そうよッ！

奥まで！

奥まで綺麗にしてッ！

ぐんぐん



そして黒ストに  
開いた穴から  
覗く詩羽の  
充血した秘唇。

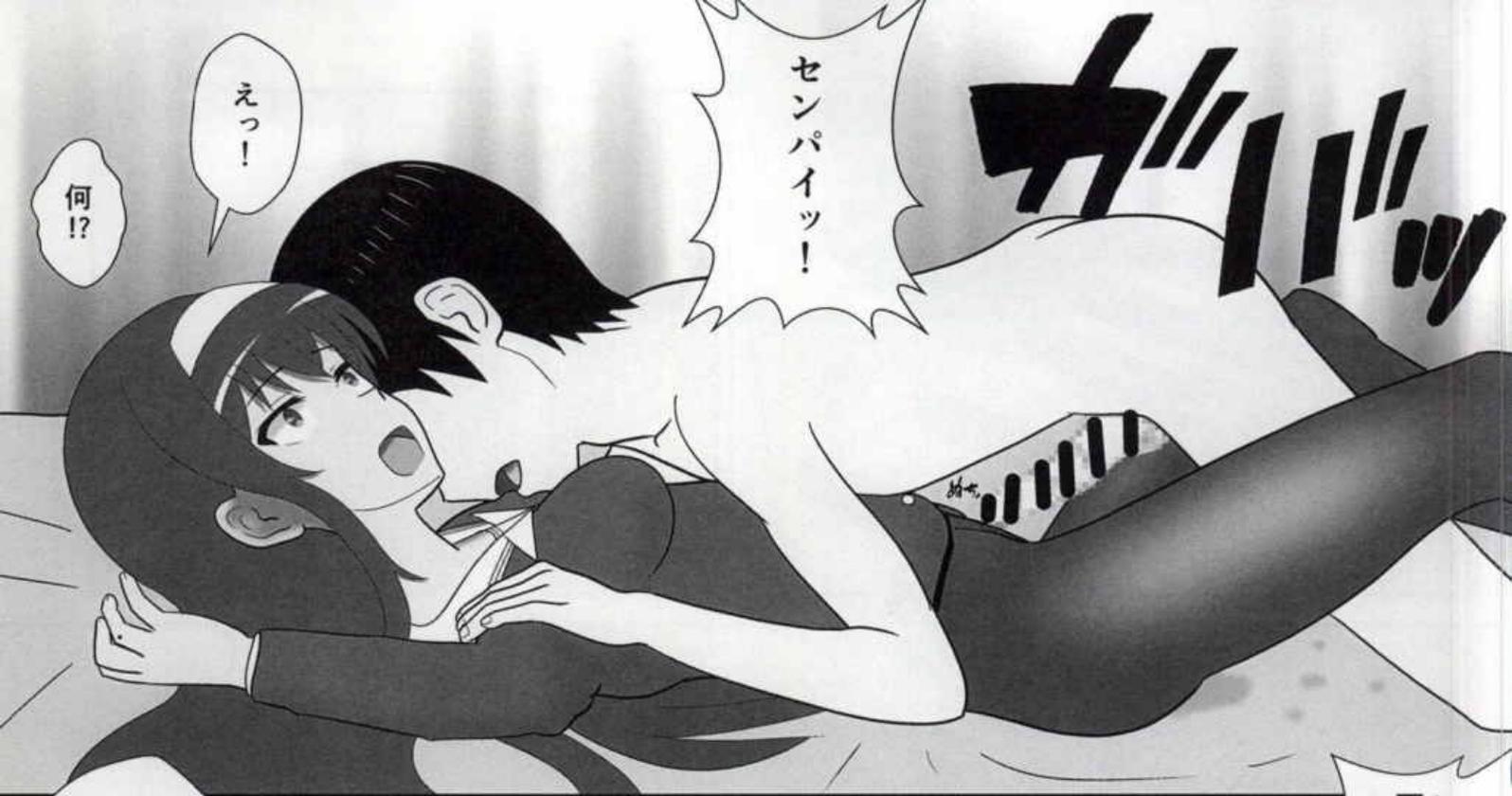


絶頂した詩羽が  
振り撒く濃密な  
女の匂いが、繁樹  
鼻腔を強く刺激  
する。

先輩  
イッた  
のか...?



それは繁樹を誘うように  
口を開け愛液を滴らせ  
ながら開閉を繰り返す。  
それを目にした繁樹は  
欲望が抑えられなく  
なつた。



センパイッ!

えっ!

何!?



”まだ”ってセックスさせてくれる積もりだったんでしょ?

フッ...  
フッ...

先輩だってこんなに濡れてるじゃないですかッ!



セックスさせて下さいッ!

ええッ!

それはダメよ。



ダメえ〜!

もう我慢できません!

フッ...

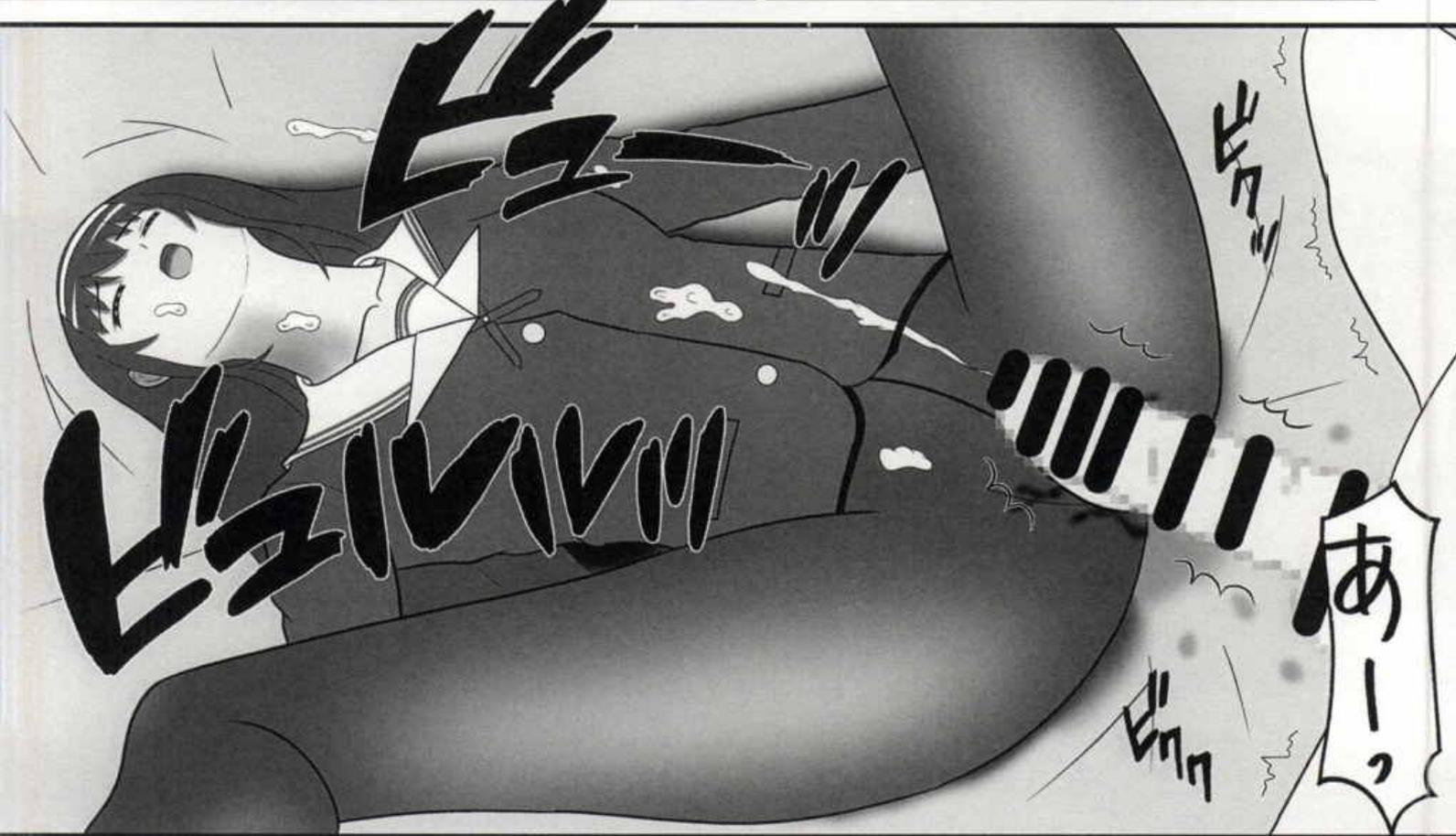


先輩のアソコ、メツチャ熱くてヌルヌルで凄く柔らかい! 指が吸い込まれるッ!

オナホと全然違う! ここに入れたらきつと凄く気持ちいいぞ!

ちよ、ちよっと待って!

フッ...  
フッ...





そう、  
わかったわ。

そんなに  
私とセックス  
したいの？

ハイ、  
ハイ！

どうしても  
先輩としたい  
ですッ！

繁樹のクンニで  
絶頂はしたものの、  
詩羽は遅いモノで  
貫かれて、止めを刺さ  
れなければ収まりが  
つかないほど昂ぶって  
いた。



私があなただの  
童貞うばって  
あげるわ。



じゃあ  
横になって



んっ

ちゅっ

ううっ  
センパイ！



いっ  
入れるわよ。

はあ

はあっ

はあ

ああ、  
遂に先輩の  
中にッ!

んあああッ!  
入ってえ!



先輩!  
もう!

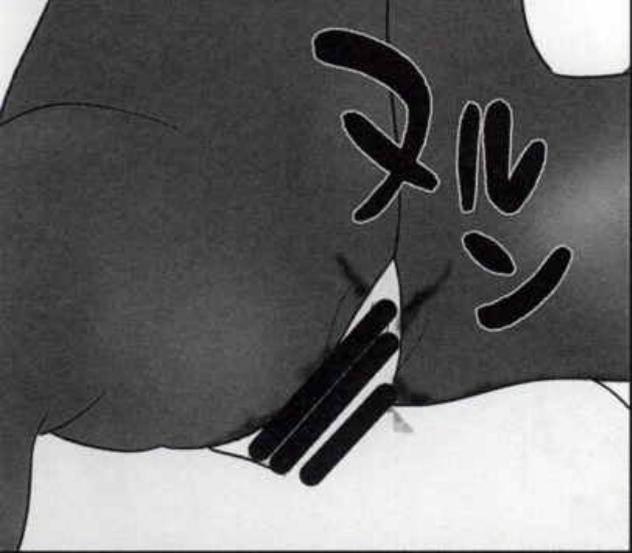
まだ全部入って  
ないわ!  
イッちゃダメよ!

うッ!  
ああッ!  
凄いイ!



来るう!

フッ



あーッ！  
あーッ！  
入った！

全部  
入ったわ  
♡

ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ







**黒スト詩羽**

**青年紳士同盟**

**For Adult+ Only**